



2023年7月12日 開業 箱根ホテル小涌園

BUSINESS REPORT

株主・投資家の皆さまへ

藤田観光グループ

第91期 事業報告

2023年1月1日 ▶ 2023年12月31日

トップメッセージ

ごあいさつ

株主の皆さまには、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
2024年3月27日付で、代表取締役兼社長執行役員に就任いたしました山下信典でございます。株主の皆さまのご期待に応えるべく全力を尽くしてまいります。

代表取締役兼社長執行役員

山下 信典



— 2023年について

2023年は、各事業において商品力向上を進めたことに加え、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行したことによる国内需要の回復、インバウンド需要の活性化といった環境改善を受け、宿泊部門を中心に消費単価、稼働率が前年比で大きく伸びました。

WHG事業においては、朝食を中心とした付加価値の向上やインバウンド需要の獲得などにより、東京都内施設を中心に客室平均単価、稼働率が大きく上昇し、業績を牽引いたしました。

ラグジュアリー&バンケット事業においては、ホテル椿山荘東京にて、山縣有朋公築庭145周年を機に見どころを「令和新十二景」として整備した庭園、新たな庭園演出など、ホテルがもつ資産・施設価値を付加させた宿泊プランが支持され、客室平均単価の向上に繋がりました。

リゾート事業においては、7月12日箱根ホテル小涌園が開業いたしました。箱根小涌園ユネッサンでは流れるプールを新設するなど、大規模リニューアルも同時期に実施し、既存施設を含めた箱根小涌園エリア一体の魅力を向上させることで、ターゲットとなるファミリー層を中心に多くのお客さまにご利用をいただき、順調な滑り出しとなりました。

これらの結果、当社グループ全体の売上高は前年比207億円増収の645億円、営業利益は前年比106億円増益の66億円、経常利益は前年比115億円増益の70億円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、ホテル鳥羽小涌園跡地の売却による特別利益を計上したことなどにより、81億円となりました。なお、コロナ禍に推進した構造改革の効果もあり、親会社株主に帰属する当期純利益は333億円の固定資産売却益(特別利益)を計上した2021年に次ぎ過去最高水準となりました。

また、2021年9月28日に発行したA種優先株式150株のうち、50株を2023年12月22日に償還(取得および消却)いたしました。

2024年には通期で売上高687億円、営業利益60億円、経常利益58億円の計画となっております。WHG事業を中心に客室平均単価の上昇を見込む一方で、人件費などの上昇やコロナ禍に抑制していた投資の再開を織り込んでいるため、前年比増収減益計画ではありませんが、「中期経営計画2028」の初年度につき、確実に達成し次年度以降に繋げていきたいと考えております。

2024年12月期 業績予想

	2024年 第2四半期	前年 同期比	2024年 通期	前期比
売上高	327	+35	687	+41
営業利益	20	+0	60	△6
経常利益	20	△5	58	△12
親会社株主に帰属する 当期純利益	15	△15	53	△28

— 「中期経営計画2028 Shine for Tomorrow, to THE FUTURE」について

コロナ禍に推進した構造改革効果もあり、収益性が高まった一方、中長期的な課題として、外部要因にも揺るがない基盤を構築する重要性や、当社の事業を担う人材の確保と育成を進める必要性を強く認識しております。このような状況を踏まえ、長期ビジョンの実現に向けた、2024年から2028年までの5ヵ年の中期経営計画を策定いたしました。

スローガン「Shine for Tomorrow, to THE FUTURE」のもと、重要課題である「環境に左右されない持続的成長基盤確立」「人材の確保・育成」「健全な財務基盤構築」に対応するため、5つの戦略「事業戦略」「人材戦略」「財務戦略」「サステナビリティ戦略」「成長戦略」に取り組みます。

●環境に左右されない持続的成長基盤確立

ラグジュアリー&バンケット事業およびリゾート事業の既存施設の収益力強化などにより、WHG事業に偏重した収益バランスを是正するとともに、新規事業の創出にも取り組んでまいります。また、WHG事業の新規出店については、賃借物件に限定せず資産取得、フランチャイズ、マネジメントコントラクトなど、出店形態の多様化を図り、固定賃料比率の引き下げを進めてまいります。

●人材の確保・育成

国内労働人口の減少と急激な宿泊需要の回復に伴う人手不足への対応は喫緊の課題であり、採用強化と教育強化を両

軸として人材確保と育成に取り組んでまいります。マネジメント人材や専門人材を安定的に採用するための手法と労働環境を整備するとともに、新人事制度の定着やシステムを活用した適切な人材配置と育成を行い、人材を定着させることにより、組織力の強化に努めます。

●健全な財務基盤構築

大幅に向上した収益力を維持すべく、収益拡大に資する投資は積極的に実施したうえで、資本の増強と優先株式の早期償還の両立を図ります。

5ヵ年の計画期間の前半3年を「基盤構築フェーズ」と位置づけ、事業ごとの個別課題へ着手しながら、人材への投資や付加価値・生産性の向上に取り組むと同時に、自己資本比率25%を維持しながら財務基盤の構築を目指します。後半2年は「収益拡大フェーズ」と位置づけ、最終年度となる2028年には、WHG事業やリゾート事業における拠点拡大、ホテル椿山荘東京の業績向上、新規事業の立ち上げを目指すと同時に、自己資本比率の向上を目指してまいります。

収益性を図る指標として、売上高・営業利益・営業利益率・ROEを設定し、それぞれ800億円・80億円・利益率10%・優先株式償還後のROE10%以上維持を計画しております。設備投資については、2023年度実績は52億円でしたが、営業キャッシュ・フローの範囲内に抑えながら、2028年度までの5年累計で350億円規模の投資を計画しております。優先株式の償還や有利子負債の削減を進めながら内部留保を増加させ、計画期間中の自己資本比率を25%以上に維持するため、財務の安定性を適切に管理してまいります。(中期経営計画2028の詳細はP.5~6をご覧ください。)

コロナ禍で多くの困難を乗り越えた経験を貴重な財産としながら、中期経営計画を着実に実行し、皆さまのご期待に添えるように取り組んでまいります。株主の皆さまにおかれましては、今後も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

リゾート事業部

箱根ホテル小涌園 グランドオープン

2023年7月12日に、箱根ホテル小涌園が開業いたしました。新しく生まれ変わった箱根ホテル小涌園は、箱根の山々を望む露天風呂付温泉大浴場や幅広い世代にお楽しみいただけるビュッフェレストランを備えています。また、全館でのキャッシュレス化やセルフチェックイン機の導入により、お客さまの利便性向上と業務の省力化を図っています。さらに、神奈川県産木材や旧ホテルの廃材を内装に使用したり、再利用素材のユニフォームを採用するなど、サステナブルな取り組みを数多く行っており、まさに新時代のリゾートホテルです。

旧ホテルのように長くお客さまに愛され続けるホテルを目指し、心を込めてお客さまをお迎えしてまいります。



ラグジュアリー&バンケット事業部

庭園内のチャペルがリニューアル！

2023年9月、ホテル椿山荘東京庭園内のチャペル「VENT VERT (ヴァンヴェール)」が20年ぶりにリニューアルし、自然を望むチャペルに生まれ変わりました。木の温かみや暖炉を思わせる光の柔らかさと、上質感を兼ね備えたホワイエスペース。ゲストの皆さまをお出迎えする導線はあえて照度を落として「期待と緊張感」を、対照的にチャペル内は高い天井と5mの窓から望む庭園の緑と差し込む自然光で「躍動感」を演出いたします。挙式後のフラワーシャワー、フォトセッションまで、庭園内のチャペルならではの広々とした空間で幸せの余韻に包まれるひとときをお過ごしいただけます。



WHG事業部

ホテルグレイスリー新宿にゴジラフロアがオープン！ ～より心に残るご滞在を～

2023年12月、「ホテルグレイスリー新宿」は、「お客さまがより楽しめる空間へ」というコンセプトのもと、30階フロアを一部改装し、「ゴジラフロア」をオープンしました。30階に到着すると、歴代の映画に登場するゴジラが4基のエレベーターの扉に出現、また「ゴジラシリーズ」のシーンをギャラリー展示し、どっぷりと「ゴジラ」の世界に浸っていただけます。ご好評の「ゴジラルーム」に加え、よりパワーアップした空間をぜひご体感ください。



教育・育成

人材育成コンソーシアム 「T&F Hospitality Lab」が始動しました！

2023年7月、東急ホテルズ&リゾート株式会社との協働人材育成コンソーシアム「T&F Hospitality Lab」を発足しました。宿泊・料飲部門の若手社員（入社2～4年目）を対象に、第1期生は2023年10月から2024年3月まで計5回の研修を行いました。専門家の講義受講などの座学のほかドリンクを飲み比べて鮮度の違いを体感したり、お客さまの要望を客室から推測する演習を実施いたしました。

他社の社員と合同での学びの場を設けることにより、双方の人材のモチベーションアップ・サービス力向上を目指し、人材の確保や育成に繋げてまいります。



中期経営計画 2028

Shine for Tomorrow, to THE FUTURE

今期中期経営計画は、コロナ禍による数々の困難を乗り越え、新たな成長への転換点としていくという思いを込め、「Shine for Tomorrow, to THE FUTURE」をスローガンに据えました。事業戦略、人材戦略、財務戦略、サステナビリティ戦略、成長戦略という5つの主要戦略を策定し、推進してまいります。

社是

私たちは、健全な憩いの場と温かいサービスを提供することによって、潤いのある豊かな社会の実現に貢献したいと願っております。

社訓

経営指針 行動指針

共有する価値観

いつも、ありがとうの
いちばん近くに。

行動原則

笑顔 あいさつ
清潔 迅速

長期ビジョン

みんなが笑顔になるために、ライフスタイルに寄り添うユニークな事業展開で、成長し続けます。

5カ年を基盤構築フェーズ(2024~2026年)と収益拡大フェーズ(2027~2028年)に分けて、5つの主要戦略を策定

I.事業戦略 II.人材戦略 III.財務戦略
IV.サステナビリティ戦略 V.成長戦略

3つの重点課題

環境に左右されない
持続的成長基盤確立

- ポートフォリオの是正
- 新規事業の創出

人材の確保・育成

- 採用の強化
- 教育の強化

健全な財務基盤構築

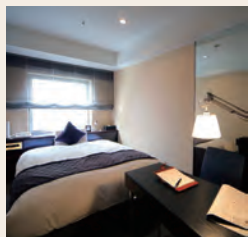
- 売上高拡大による内部留保の蓄積
- 優先株式の早期償還

主要戦略

I.事業戦略

WHG事業

- 商品力強化による収益向上
- 新規出店による拠点数拡大
- ブランドの再整理と認知度向上
- ファンの獲得



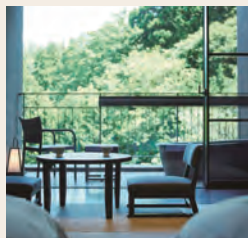
ラグジュアリー&バンケット事業

- 有形固定資産の活用
- ブランド、ノウハウ・スキルの活用
- 専門技能強化と人材ポテンシャル最大化



リゾート事業

- 箱根小涌園での再開発効果最大化
- 既存施設の商品力強化と遊休地活用
- 事業領域の拡大と新規出店



中期経営計画2028
詳細はこちらより
ご覧ください。

II.人材戦略

戦略人材^{*1}を安定的に確保し、会社の成長を推進する基盤を確立、人的資本の向上を図る



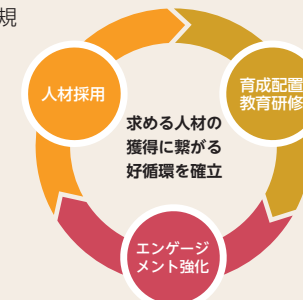
ダイレクトミーティングの様子
(ホテルタビノス浜松町)

戦略的な人材確保

- 採用チャネルの拡充と新規採用ルートの構築
- 中途採用市場の積極的な活用

雇用条件の維持向上

- 業界上位水準の処遇
- 福利厚生施策の拡充
- 個人のニーズに合致した多様な雇用形態(地域限定社員、専門職コース)



社内人材の活性化

- 新人事制度の着実な運用
- タレントマネジメントシステム^{*2}の導入
- 社内キャリア形成支援

マネジメント力・専門性の向上

- 教育体系構築と教育計画の推進
- 研修機会の更なる増加

企業風土の醸成

- トップマネジメントダイレクトミーティングの推進
- モチベーションの定期的なモニタリング

^{*1} 戦略人材…変革・挑戦しつづけるマネジメント人材・専門人材

^{*2} タレントマネジメントシステム…研修や評価、社員からのキャリア申請などの人材に関する情報を一元管理できるシステム

III.財務戦略

財務の安定性を維持しながら健全な財務基盤を構築

- ① A種優先株式の償還
- ② キャッシュフローの適切なコントロール
- ③ 資本市場・会計基準変更等への対応

V.成長戦略

【会員プログラム】

THE FUJITA MEMBERSを通じたお客さまとの関係構築

- ① 会員数増加・売上規模拡大
- ② 長期的な継続利用を促すサービス拡充・利便性向上
- ③ 顧客データの活用基盤展開・定着化・リテラシー向上

【新規事業】

新たな領域に挑戦

- ① アイデア発掘から事業化までを継続的・効果的に実現
- ② 既存の枠にとらわれない検討

IV.サステナビリティ戦略

会社の持続的な成長へ繋がる活動を推進

- ① サステナビリティに配慮した商品の拡充と展開
- ② 取り組みを通じた施設の魅力向上
- ③ お客さまへの情報発信の拡充
- ④ 働きやすさの向上と働きがいの造成



数値目標

	2023年実績	2028年目標
収益性	売上高	800億円
	営業利益	80億円
	営業利益率	10%
	ROE (当期純利益/自己資本)	10%以上維持
投資	設備投資額	5年累計350億円
	営業CF	5年累計450億円
財務	自己資本比率 (自己資本/総資産)	25%以上維持
	優先株式を除く 17.1%	

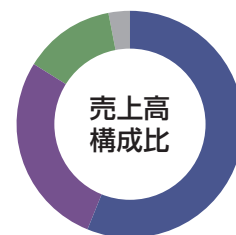


連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期 2023年12月31日現在	前期末比 増減
資産の部		
流動資産	21,293	△9,654
固定資産	72,202	3,188
有形固定資産	50,350	1,297
無形固定資産	602	△71
投資その他の資産	21,250	1,962
資産合計	93,496	△6,466
負債の部		
流動負債	30,365	3,044
固定負債	37,156	△12,745
負債合計	67,521	△9,700
純資産の部		
資本金	100	—
剰余金その他	23,551	2,315
自己株式	△904	△1
株主資本合計	22,746	2,314
その他の包括利益累計額	3,227	1,031
非支配株主持分	—	—
純資産合計	25,974	3,234
負債・純資産合計	93,496	△6,466

事業別の概況



- WHG事業
- ラグジュアリー&バンケット事業
- リゾート事業
- その他(調整額含む)

※ 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期 2023年1月1日~ 2023年12月31日	前期比 増減
売上高	64,547	20,797
営業費用	57,910	10,112
営業利益	6,636	10,685
営業外収益	1,036	553
営業外費用	591	△304
経常利益	7,081	11,542
特別利益	675	△417
特別損失	1,071	△1,922
税金等調整前当期純利益	6,685	13,047
税金費用	△1,426	△848
当期純利益	8,112	13,896
非支配株主に帰属する当期純利益	△2	△7
親会社株主に帰属する当期純利益	8,114	13,904

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期 2023年1月1日~ 2023年12月31日	前期比 増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,109	10,463
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,919	202
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,667	△6,732
現金および現金同等物に係る換算差額	43	140
現金および現金同等物の増減額	△10,434	4,074
現金および現金同等物の期首残高	24,110	△14,509
現金および現金同等物の期末残高	13,675	△10,434
フリー・キャッシュ・フロー	5,189	10,666

売上高	(構成比)	営業利益
363.6億円	(56.3%)	54.2億円
178.7億円	(27.7%)	12.5億円
84.5億円	(13.1%)	1.6億円
18.4億円	(2.9%)	△2.1億円

会社の概要 (2023年12月31日現在)

設立年月日 1955年11月7日(登記上は1946年6月12日)
 資本金 1億円
 本社所在地 〒112-8664 東京都文京区関口2-10-8
 (03) 5981-7700
<https://www.fujita-kanko.co.jp/>
 主な営業種目 ホテル・旅館業、飲食店業ほか
 従業員数 1,342名

取締役および監査役 (2024年3月27日現在)

代表取締役	山下 信 典	監査役(常勤)	小 室 真 吾
取締役	小 宮 泰	監査役(常勤)	森 本 哲 哉
取締役	岡 田 哲	社外監査役(常勤)	中 塩 弘
取締役	吉 井 出	社外監査役	清 常 智 之
社外取締役	高 見 和 徳		
社外取締役	鷹 野 志 穂		
社外取締役	山 田 政 雄		
社外取締役	浅 井 紀 久 子		

執行役員 (2024年3月27日現在)

社長執行役員 山下 信 典(前出)
 専務執行役員 松 田 隆 則
 執行役員 恩 田 豊
 執行役員 和 田 修 治
 執行役員 十 代 雅 之
 執行役員 野 崎 浩 之
 執行役員 千 尋 智 彦
 執行役員 小 山 雄 一 郎

株式の状況 (2023年12月31日現在)

発行可能株式総数	普通株式	44,000,000株
	A種優先株式	150株
発行済株式の総数	普通株式	12,207,424株
	A種優先株式	100株
株主数	普通株式	20,030名
	A種優先株式	1名

大株主の状況

普通株式(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	所有株式数	総持株比率
DOWAホールディングス株式会社	3,814千株	31.83%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	698	5.83
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	307	2.56
明治安田生命保険相互会社	300	2.51
BNP PARIBAS SINGAPORE/25/JASDEC/MBBCLIENT ASSETS 2	259	2.16
日本生命保険相互会社	218	1.82
アサヒビール株式会社	181	1.51
株式会社三菱UFJ銀行	180	1.51
MSSGA/CLIENTS	164	1.37
PHILLIP SECURITIES CLIENTS(RETAIL)	163	1.37

※議決権総数 119,464個
 ※所有株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 ※総持株比率の算定にあたっては、発行済株式の総数から自己株式222千株を除き、小数点第3位を四捨五入しており、A種優先株式数が含まれております。

A種優先株式

株主名	当社への出資状況	
	所有株式数	総持株比率
DBJ飲食・宿泊支援ファンド投資事業有限責任組合 無限責任組合員 DBJ飲食・宿泊サポート株式会社	100株	0.00%
代表取締役 松木 大		

※総持株比率の算定にあたっては、発行済株式の総数から自己株式222千株を除き、小数点第3位を四捨五入しており、普通株式数が含まれております。

株主優待券



東京都

ホテル椿山荘東京

「プライムスーペリア ガーデンビュー」

【お部屋代金】2名利用 1室あたり
株主優待価格…50,600円～
 ※消費税・サービス料込、宿泊税別
 (通常価格………75,900円～)

お問い合わせ ☎ 03-3943-0996 (宿泊予約 9:00～20:00)



東京都

ホテルグレイスリー浅草

「スーペリアツイン」
 【お部屋代金】2名利用 1室あたり
株主優待価格…16,500円～
 ※消費税・サービス料込、宿泊税別
 (通常価格………33,000円～)
 お問い合わせ ☎ 03-6632-8981

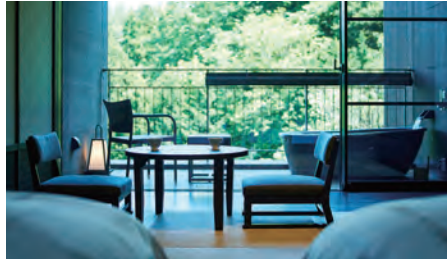


神奈川県

箱根小涌園 ^{てんゆう}天悠

「露天風呂付客室」
 【お部屋代金】2名利用 1室あたり
株主優待価格…35,200円～
 ※消費税・サービス料込、入湯税別
 (通常価格………57,200円～)

お問い合わせ ☎ 0465-20-0260 (宿泊予約 9:00～18:00)



※別途、夕・朝食付プランもご用意いたしております。

神奈川県

横浜桜木町ワシントンホテル

「スーペリアツイン」
 【お部屋代金】2名利用 1室あたり
株主優待価格…12,100円～
 ※消費税・サービス料込
 (通常価格………24,200円～)
 お問い合わせ ☎ 045-221-0489 (宿泊予約 9:00～18:30)



神奈川県

箱根小涌園 三河屋旅館

「本館露天風呂付客室」
 【お部屋代金】2名利用 1室あたり
株主優待価格…26,400円～
 ※消費税・サービス料込、入湯税別
 (通常価格………48,400円～)

お問い合わせ ☎ 0465-43-8541 (宿泊予約 9:00～18:00)



※別途、夕・朝食付プランもご用意いたしております。

大阪府

ホテルグレイスリー大阪なんば

「スタンダードツイン」
 【お部屋代金】2名利用 1室あたり
株主優待価格…11,550円～
 ※消費税・サービス料込、宿泊税別
 (通常価格………23,100円～)
 お問い合わせ ☎ 06-7639-9933



箱根ホテル小涌園 2023年7月12日開業

「スタンダードルーム Type-A」
 【お部屋代金】2名利用 1室あたり
株主優待価格…17,600円～
 ※消費税・サービス料込、入湯税別
 (通常価格………35,200円～)



お問い合わせ ☎ 0465-22-5489 (宿泊予約 10:00～18:00)
 ※オプションで夕食・朝食をご希望の場合、ご予約時に承ります。

「デラックスルーム」
 【お部屋代金】2名利用 1室あたり
株主優待価格…28,600円～
 ※消費税・サービス料込、入湯税別
 (通常価格………50,600円～)



ユネッサンと元湯 森の湯が入り放題

ホテル内お支払いはキャッシュレス

海外の施設でもご利用いただけます。

ホテルグレイスリー台北

「スタンダードツイン」
 【お部屋代金】2名利用 1室あたり
株主優待価格…2,500TWD～(台湾ドル)
 ※消費税・サービス料込
 お問い合わせ ☎ +886-2-2322-0115



ホテルグレイスリーソウル

「デラックスツイン」
 【お部屋代金】2名利用 1室あたり
株主優待価格…121,000KRW～(ウォン)
 ※消費税・サービス料込
 (通常価格………242,000KRW～(ウォン))
 お問い合わせ ☎ +82-2-6936-0111



株主優待日帰り施設ご利用券



本券1枚につき箱根小涌園
 ユネッサン、または下田海中
 水族館いずれかの入場が
 2名様まで無料となります。

※掲載価格は2024年2月1日現在の価格です。
 ※価格はシーズンにより変更する場合がございます。
 ※一部宿泊施設では適用除外日を設けております。



※本券は非売品であり金品などの交換はできません。また、第三者への転売はお断りいたします。
 ※その他ご利用に関するご案内は株主優待券の記載内容をご確認ください。
 ※株主優待券をご利用いただける施設の一例です。

ご宿泊、レストラン、イベントご予約は公式アプリが便利！

POINT 1

初回ログイン以降はメールアドレス・パスワードの入力が省略できる！

POINT 2

スマートフォンのホーム画面から会員証をすぐに開ける！

POINT 3

プッシュ通知でお知らせを見逃さずチェックできる！

POINT 4

各種予約サイトへの遷移可能
予約が簡単に！

公式アプリのダウンロードはこちらから

App store
(iOS)

Google Play
(Android)



THE FUJITA MEMBERS について

👛 ポイントが貯まる

藤田観光グループ施設を利用すると、会員ステージに応じて5%から最大12%のポイントが還元されます。

※旅行代理店(インターネット予約サイトを含む)経由のご予約は、会員ステージに関係なく、一律50ポイントとなります。

👛 ポイントを使う

- 1ポイントから、1円単位で藤田観光グループの対象施設でご利用いただけます。
- 各種電子マネーでも利用可能です。

🎁 充実した特典

施設・会員ステージなどに応じた様々な特典をご用意

- 会員優待料金
- 会員限定クーポン
- 署名のみのクイックチェックイン
- 誕生日・記念日・オリジナル記念日特典



詳細はこちらから

株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで

定時株主総会 3月下旬

基準日 12月31日

その他必要があるときは取締役会の決議によりあらかじめ公示して設定

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

郵送物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事柄は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

藤田観光株式会社

〒112-8664 東京都文京区関口2-10-8

電話 (03) 5981-7700

https://www.fujita-kanko.co.jp/



この報告書は、FSC®認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用しています。

